

様式第3-2号

削減計画実施状況報告書（内容）

| | |
|---|---|
| 事業所名 | 独立行政法人 国立がん研究センター東病院 |
| 事業所の所在地 | 柏市柏の葉 6-5-1 |
| 事業所の主たる業種及び事業概要 | 病院 |
| 報告期間 | 平成23年度分 |
| 温室効果ガス排出量報告 | <p>◎基準年度 <u>9, 191 t-CO₂</u> (21年度)</p> <p>◎当該年度 <u>9, 318 t-CO₂</u> (内訳は別紙1)</p> <p>◎対基準年削減量 <u>127 t-CO₂</u> 増量</p> <p>◎削減率 <u>1.4 %</u> 増加</p> <p>◎目標年度 <u>9, 007 t-CO₂</u> (24年度)</p> |
| 温室効果ガス削減実施内容 (増加している場合は、その理由と今後の対策も記入する) | <p><具体的に記入する（別紙也可）></p> <p>① 21年7月医局棟（延床床面積約2,567m²）、22年1月臨床開発センター「プロジェクト棟」[旧名称開発センター「ボーラー棟」]（延床床面積約2,803m²）が開設。各種設備も基準年度では一部の稼働であったが当該年度は通年フル稼働となつた。</p> <p>② 都市ガスのCO₂排出係数が基準年(2.08)と今年度(2.19)が変更の為、CO₂排出量が98t増加した。</p> <p>上記2件の関係から増加した。</p> <p>現在新設中の常用ガスエンジン発電機が24年度末より仮稼働が開始する予定であり温室効果ガス排出量は増加傾向となることが考えられるが、削減計画書提出時に予定した22・23年度の削減計画実施工事が全て完了し更新設備が通年使用となること。および東日本大震災以降の節電方策の実施の継続で温室効果ガスの排出量削減につなげたい。また、今後老朽化設備等の更新時には高効率設備・機器の採用を実施していく。</p> |